

## 使用上のご注意

- この製品は、救命胴衣や浮き輪などとは違い、人命救助や危険を回避するための製品ではありませんので、ご注意ください。
- コーティングやラミネートが、はく離する場合がありますので、手洗いで洗濯してください。
- 濡れた状態での放置や浸け置き洗いは、お避けください。
- 洗濯や、着用、摩擦により色落ちや色移りする場合がありますので、ご注意ください。
- 洗濯の際は、ポンプを外して完全に空気を抜き、チューブのボールストッパーをしっかりと留めてチューブの先が水に付かないようにして、ファスナー、ボタンを閉じて洗濯してください。
- 蛍光増白剤のついていない洗剤を使用してください。
- 洗濯後は、手で弱く絞ってから、裏返して日陰で吊り干ししてください。
- タンブラー乾燥は、お避けください。
- 空気を入れるチューブは、引っかかったり摩擦により、他の衣類を傷つける場合がありますので、ご注意ください。
- 素材の特性上、長時間の摩擦や揉み作用で毛玉が出来やすいので、ご注意ください。目立つ毛玉は、ハサミや毛玉取り器で取り除いてください。
- 湿気などにより、製品劣化の原因になりますので、水分を取り、湿度、温度の低い風通しの良い場所で保管してください。
- はっ水加工が施されております。汗や泥などの汚れが付着したまま放置すると、カビが発生したり洗濯により表面の、はっ水性が低下する場合がありますので、ご注意ください。
- 防水加工は施されておきませんので、ご注意ください。
- 空気を入れて保温性を保つ製品ですので、生地やチューブの破れや傷などには、ご注意ください。軽度の傷でも空気が漏れる場合がありますので、取り扱いには、ご注意ください。

### ポンプ部分 取り扱い上のご注意

- 空気を入れる際は、専用のポンプを使用し、入れ過ぎには、ご注意ください。
- 空気を入れ過ぎると着用中に負荷が掛かりすぎ、縫い目や圧着部分が破損する場合がありますので、ご注意ください。
- 空気を入れ終わりましたら、チューブのボールストッパーをしっかりと留めて、着用してください。
- 空気を入れ終わりましたら、ポンプは無くさないよう、保管してください。
- 専用のポンプは他の用途には、ご使用にならないでください。
- 空気は徐々にですが自然と漏れていきます。空気が減ってきたら再度ポンプで空気を入れなおしてください。
- 空気を抜く際は、チューブのボールストッパーを所定のくぼみにずらして、ゆっくり空気を抜いてください。無理に空気を抜こうとすると、製品の破損に繋がりますので、ご注意ください。
- 空気を入れるチューブが破損すると、空気を入れられなくなりますので取り扱いには、ご注意ください。
- チューブを衣服から外さないで、ご使用ください。